

令和7年7月30日08時25分頃のカムチャツカ半島付近の地震 による大分県の津波について

大分県沿岸に津波注意報を発表中
大分県沿岸で津波を観測

カムチャツカ半島付近の地震により、大分県の沿岸で津波を観測しました。観測した津波の波形について、別添のとおりお知らせします。

また、大分地方気象台のホームページ（トップページのトピックス）からも全ての資料をご覧ください。

なお、大分地方気象台のホームページは、更新のタイミングにより掲載が遅れる場合があります。

<https://www.data.jma.go.jp/oita/>

本件に関する問い合わせ先：平日（日中）大分地方気象台

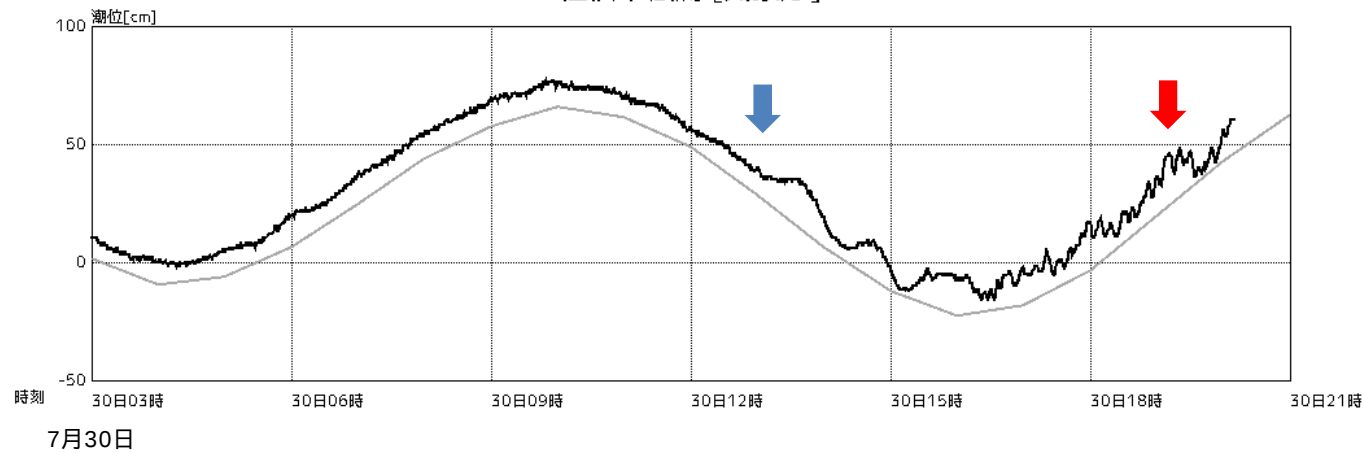
097-532-0644

夜間・休日 福岡管区気象台地域火山監視・警報センター

092-725-3606

大分県の検潮所で観測した津波の記録

佐伯市松浦〔気象庁〕



第1波到達時刻 ↓ これまでの最大波 ↓

○大分県の検潮所で観測した津波の観測値
（30日20時49分現在）

佐伯市松浦

第1波到達時刻

30日13時05分 押し

これまでの最大波

30日19時10分 0.1m

別府港

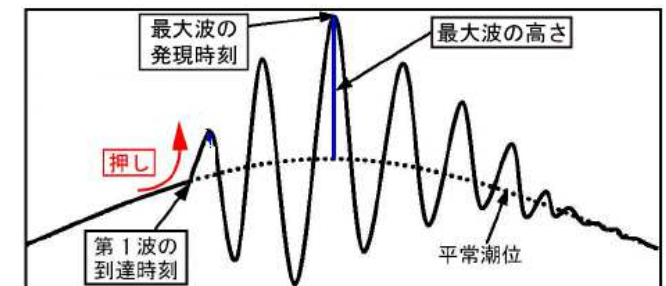
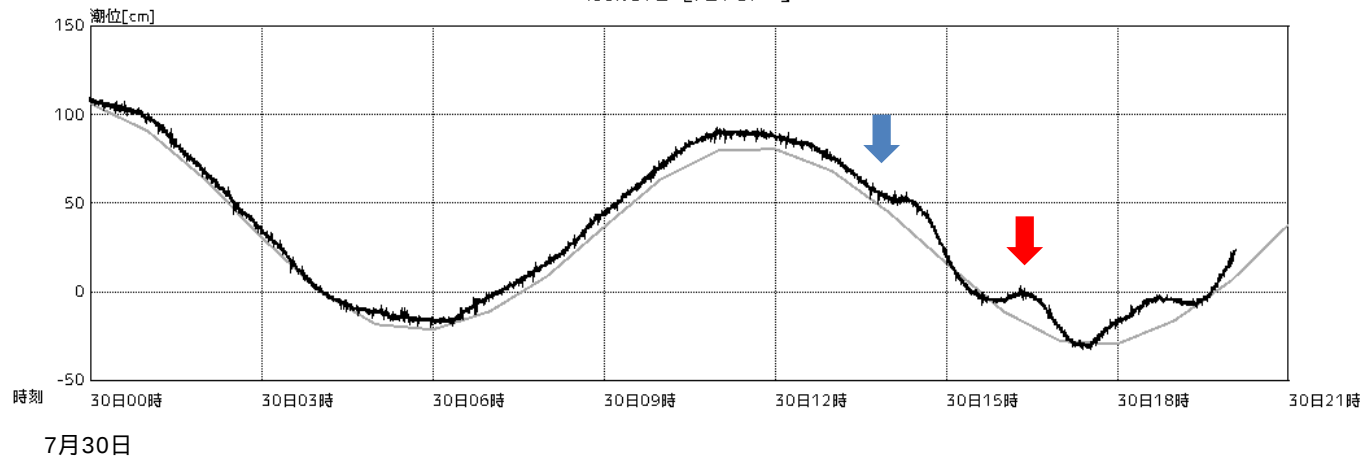
第1波到達時刻

30日13時41分 押し

これまでの最大波

30日16時25分 0.1m

別府港〔港湾局〕



津波の観測値の測り方

第一波の向きは、下方向が「引き」、上方向が「押し」となります。（図の例の場合は「押し」となります。）

「津波の高さ」とは、津波がない場合の潮位（平常潮位）と、津波による潮位との差のことです。